

「第 2 回 全国在宅医療・介護連携研修フォーラム」

- 日時：10 月 16 日（金）13:00～17:50
- 場所：アットビジネスセンター東京駅八重洲通り 5 階 501 会議室
- 目的：地域単位の在宅医療・介護連携のための多職種研修の推進
- 主催：国立長寿医療研究センター 東京大学高齢社会総合研究機構／医学部在宅医療学拠点
- 共催：全国在宅療養支援診療所連絡会
- 後援：日本医師会 全国保健師長会
- 対象：
 - ・主対象：都道府県在宅医療・介護連携推進事業担当者
 - ・オブザーバー：在宅医療・介護連携推進事業に携わる者（市町村、地区医師会等）
- タイムテーブル

時刻	項目	内容・講師等
12:30	受付開始	
13:00	主催者挨拶	国立長寿医療研究センター 理事長 鳥羽 研二
13:05	来賓挨拶	日本医師会 常任理事 鈴木 邦彦
13:10	趣旨説明	東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授 辻 哲夫
13:20	在宅医療・介護連携推進事業について	厚生労働省老健局老人保健課 医療・介護連携技術推進官 秋野 憲一
13:40	在宅医療推進のための地域における多職種連携研修会 開催パターンの類型化	東京大学高齢社会総合研究機構 准教授 飯島 勝矢
13:55	各地における在宅医療・介護連携研修の取組み	各地からの報告 1. 沖縄県での取組み ・浦添市医師会 大濱 篤 ・沖縄県医師会 山里 将進 2. 滋賀県市町での取組み ・大津市保健所保健総務課 坂口 和代 質疑応答 (休憩 15 分) ・高島市健康福祉部地域包括支援課 古谷 靖子 3. 岩手県釜石市での取組み ・釜石市保健福祉部健康推進課 地域医療連携推進室 小田島 史恵 質疑応答
16:00	ワークショップ 「各地で在宅医療・介護連携研修を展開していくために」	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的に、かつ継続性を保ちながら在宅医療・介護連携研修を展開していくためにどうするか、下記の論点を含みつつ情報交換、意見交換を行う。 ・在宅医療・介護連携推進事業の中で在宅医療・介護連携研修をどのように位置づけるか ・どのような範囲（都道府県、二次医療圏、市町村）で、どのような研修の機能や役割を分担するか ・小規模市町村をどのように支援していくか ・各グループからの発表
17:20	全体討論・コメント	
17:40	共催者より挨拶	全国在宅療養支援診療所連絡会 会長 新田 國夫
17:45	閉会挨拶	国立長寿医療センター 企画戦略局長 原口 真
17:50	終了	
18:20	情報交換会（有志）	会場近隣にて（費用は各自実費負担）